

平成 22 年度事業報告書

(平成 22 年 3 月 1 日から平成 23 年 2 月 28 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

・第 110 回定期学術集会

日時 平成 22 年 4 月 8 日～10 日

場所 名古屋国際会議場（名古屋市）

参加者数 12,797 名 演題数 2,479 題

テーマ 「古鑿高懸 —Back to the Future of Surgery—」

・第 77 回卒後教育セミナー

日時 平成 22 年 4 月 10 日

場所 名古屋国際会議場 白鳥ホール（名古屋市） 参加者数 1,208 名

テーマ 「リンパ節郭清の昔と今」

・第 78 回卒後教育セミナー

日時 平成 22 年 11 月 23 日

場所 パシフィコ横浜（横浜市） 参加者数 707 名

テーマ 「匠の標準手術」

・第 18 回生涯教育セミナー

テーマ 「外科と化学療法」

（北海道地区）

日時 平成 23 年 2 月 12 日

場所 札幌医科大学臨床教育研究棟（札幌市） 参加者数 90 名

（東北地区）

日時 平成 22 年 9 月 11 日

場所 山形テルサ（山形市） 参加者数 81 名

（関東地区）

日時 平成 23 年 2 月 5 日

場所 千代田放送会館（東京都） 参加者数 85 名

（中部地区）

日時 平成 22 年 9 月 4 日

場所 福井県国際交流会館（福井市） 参加者数 73 名

（近畿地区）

日時 平成 22 年 6 月 9 日

場所 京都テルサ（京都市） 参加者数 103 名

（中国四国地区）

日時 平成 21 年 9 月 11 日

場所 アルファあなぶきホール（高松市） 参加者数 82 名

（九州地区）

日時 平成 22 年 5 月 8 日

場所 宮崎県農協会館（宮崎市） 参加者数 67 名

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成22年3月1日	111	2	36,600
平成22年5月1日	111	3	37,200
平成22年7月1日	111	4	37,400
平成22年8月20日	111	臨時増刊3	37,900
平成22年9月1日	111	5	37,800
平成22年11月1日	111	6	37,900
平成23年1月1日	112	1	38,000

- ・Official Journal「Surgery Today」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成22年3月1日	40	3	40,000
平成22年4月1日	40	4	40,000
平成22年5月1日	40	5	40,000
平成22年6月1日	40	6	40,000
平成22年7月1日	40	7	40,000
平成22年8月1日	40	8	40,000
平成22年9月1日	40	9	40,000
平成22年10月1日	40	10	40,000
平成22年11月1日	40	11	40,000
平成22年12月1日	40	12	40,000
平成23年1月1日	41	1	40,000
平成23年2月1日	41	2	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会、American College of Surgeons（ACS）、Society of University Surgeons（SUS）と若手外科医の交換交流を行い、International Federation of Surgical Colleges（IFSC）の加盟を継続した。
- ・日本医学会、外科系学会社会保険委員会連合（外保連）、日本専門医制評価・認定機構、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
- ・外科系14学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学及びこれに関する医療制度の資料の収集並びに研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い、その結果を元に関係官庁などに要望書を提出した。
- ・日本医療安全調査機構に参加し、死因の調査分析事業に協力した。
- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・「新しいチーム医療体制確立のためのメディカルスタッフの現状と連携に関する包括的調査研究」を行った（厚労科研事業）。

- ・「サージカルトレーニングのあり方に関する研究」を行った（厚労科研事業）。
- ・広報活動として、第37回市民講座を下記のとおり行い、インターネット上で配信した。
日時 平成22年3月28日
場所 名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂（名古屋市）
テーマ 「2010年日本の外科」

⑤優秀な業績の表彰（定款第4条第5号）

- ・第17回研究奨励賞（5名）

佐伯 浩司

「Impact of perioperative peripheral blood values on postoperative complications after esophageal surgery」

出口 順夫

「Do inferior vena cava filters reduce the risk of acute pulmonary embolism in preoperative patients with venous thromboembolism?」

松谷 哲行

「Efficacy of peritoneal oxygenation using a novel artificial oxygen carrier (TRM-645) in a rat respiratory insufficiency model」

大野 敬祐

「Inhibition of osteopontin reduces liver metastasis of human pancreatic cancer xenografts injected into the spleen in a mouse model」

大嶋 清宏

「Extracorporeal membrane oxygenation for respiratory failure: Comparison of venovenous versus venoarterial bypass」

- ・第110回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な2演題をビデオライブラリーに収録して、制作補助費を支給した。また、特別ビデオセッションの4タイトルも収録した。

優秀ビデオ演題

杉山 政則「膵局所切除術後の膵癌に対する予防的内視鏡的膵管ドレナージ」

脊山 泰治「肝シミュレーションソフトを用いた合理的な肝切除—根治性と安全性を確保する治療戦略—」

特別ビデオセッション

- 1) 食道・胃・大腸
- 2) 肝胆膵・移植
- 3) 心臓・血管・肺
- 4) 乳腺・内分泌・小児

⑥外科学に関する研究及び調査（定款第4条第6号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医として計2,925名を認定し、指導医として計1,208名を選定し、認定登録医として550名を登録し、指定施設として90施設、関連施設として886施設を指定した。
- ・標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収録した。
- ・「消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行

群間無作為比較試験」を行った（厚労科研事業）。

- ・「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験」を行った（厚労科研事業）。
- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」を公表し，該当者から利益相反自己申告書を回収した。
- ・第8回臨床研究セミナー
日時 平成22年4月9日
場所 名古屋国際会議場（名古屋市） 参加者数 約150名

⑦その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

平成 23 年度事業計画書

(平成 23 年 3 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 111 回定期学術集会を下記のとおり行う。

日時 平成 23 年 5 月 26 日～28 日

場所 東京国際フォーラム（東京都）

参加予定者数 12,000 名 演題数 2,479 題

テーマ 「明日の外科を確かなものに —Reinventing Surgery for Tomorrow—」

- ・第 79 回卒後教育セミナー

日時 平成 23 年 5 月 28 日

場所 東京国際フォーラム（東京都） 参加予定者数 1,000 名

テーマ 「胸腹部の低侵襲（内視鏡）手術の現状」

- ・第 80 回卒後教育セミナー

日時 平成 23 年 11 月 19 日

場所 京王プラザホテル（東京都） 参加予定者数 800 名

テーマ 「外傷外科」

- ・第 19 回生涯教育セミナー

テーマ 「機能温存手術の適応と限界」

（北海道地区）

日時 平成 24 年 2 月 11 日

場所 札幌市内 参加者予定数 100 名

（東北地区）

日時 平成 23 年 9 月 17 日

場所 盛岡市内 参加予定者数 100 名

（関東地区）

日時 平成 24 年 2 月 4 日

場所 東京都内 参加予定者数 100 名

（中部地区）

日時 平成 23 年 4 月 10 日

場所 名古屋市内 参加予定者数 100 名

（近畿地区）

日時 平成 23 年 6 月 4 日

場所 大阪市内 参加予定者数 100 名

（中国四国地区）

日時 平成 23 年 9 月 2 日

場所 広島市内 参加予定者数 100 名

（九州地区）

日時 平成 23 年 5 月 21 日

場所 宮崎市内 参加者数 100 名

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成23年3月10日	112	臨時増刊1	38,000
平成23年3月15日	112	2	38,000
平成23年4月15日	112	臨時増刊2	38,000
平成23年5月1日	112	3	38,000
平成23年7月1日	112	4	38,000
平成23年8月15日	112	臨時増刊3	38,000
平成23年9月1日	112	5	38,000
平成23年11月1日	112	6	38,000
平成24年1月1日	113	1	38,000
平成24年2月15日	113	臨時増刊1	38,000

- ・Official Journal「Surgery Today」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成23年3月1日	41	3	40,000
平成23年4月1日	41	4	40,000
平成23年5月1日	41	5	40,000
平成23年6月1日	41	6	40,000
平成23年7月1日	41	7	40,000
平成23年8月1日	41	8	40,000
平成23年9月1日	41	9	40,000
平成23年10月1日	41	10	40,000
平成23年11月1日	41	11	40,000
平成23年12月1日	41	12	40,000
平成24年1月1日	42	1	40,000
平成24年2月1日	42	2	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会，American College of Surgeons（ACS），Society of University Surgeons（SUS）と若手外科医の交換交流を行い，International Federation of Surgical Colleges（IFSC）の加盟を継続する。
- ・日本医学会，外科系学会社会保険委員会連合（外保連），日本専門医制評価・認定機構，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・外科系14学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学及びこれに関する医療制度の資料の収集並びに研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い，その結果を元に関係官庁などに要望書を提出する。
- ・日本医療安全調査機構に参加し，死因の調査分析事業に協力する。

- ・ National Clinical Database(NCD)に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し、特定看護師（仮称）に関する制度の創設を図る。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」の運用を図る。
- ・ 広報活動として、第38回市民講座を下記のとおり行い、インターネット上で配信する。

日時 平成23年5月29日

場所 東京国際フォーラム（東京都）

テーマ 「ちょっと先生！—外科医に聴きたいことあれこれ—」

⑤ 優秀な業績の表彰（定款第4条第5号）

- ・ 第18回研究奨励賞を表彰する（5名）。
- ・ 第111回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収録して、制作補助費を支給する。

⑥ 外科学に関する研究及び調査（定款第4条第6号）

- ・ 外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。
- ・ 標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収録する。
- ・ 「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験」を行う（厚労科研事業）。
- ・ 「外科臨床研究の利益相反に関する指針」を公表し、該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・ 第9回臨床研究セミナー

日時 平成23年5月27日

場所 東京国際フォーラム（東京都） 参加予定者数 約200名

⑦ その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

- ・ 公益法人制度改革に伴い、定款変更を行って、一般社団法人への移行認可を申請する。